

記録
35ミリ
白黒/20分

- 企画
静岡県婦人団体連絡会
- 協賛
静岡県教育委員会

スタッフ

- 製作
村山英治
- 原案
近藤雅邦
- 演出
村田達二
高木邦治
- 撮影
高野 潤
- 音楽
渋谷 修

文部省選定

この作品は、戦後10年を経て、地方に生きるお母さんたちの生活改善の実践活動を静岡県下の新生活学校（市町村ですすめられた婦人会学習の教室）に取材して、オムニバス風に描いたもの。当時、新生活運動優良地区実績発表大会でも評判を呼んだ。



主婦の生活向上には個人の自覚も大切だ。グループで話し合い、それを実践することによってこそ可能であることを、山村、町、漁村のグループから紹介している。

第1話。ある山村での話。いずこも同じで姑に気兼ねしながら集まった主婦たちは、まず「自分を磨く」というテーマで勉強した。テーマという言葉ひとつでも新語辞典をひく騒ぎだが、グループでの学習は楽しい。そしてよい言葉を使うように努力しようという約束ができて、夫を「あなた」と呼ぶことにした。家でもみかん山でも「あなたァ」と明るく呼ばれ、面くらったのは夫だが、こんな小さなことも人の心を明るくするものなのだ。

第2話。ある町のグループ。ここでは町の清掃、花一杯の運動、そして三島女郎衆の昔から根絶やしにできない街娯たちの実態調査など、社会環境を明るくしようと努力する主婦の姿がみられる。

第3話。ある漁村。漁がある時はついまとまった収入に気をゆるめがちだが、海に頼る生活は不漁の時はみじめだ。なんとか平均した生活をもちたいと願う気持ちから、主婦たちは家計簿の活用を思い立つ。それに加えて、わずかでも現金収入を産みだそうと、温暖な気候を利用してレタスの清浄栽培をはじめた。初めて見るレタスの種だが、3年目にはかなりの成果をあげ、今では県外市場にも確固とした地位をしめるレタス産地になった。